

## がんのメカニズムと治療

科目到達目標: 発がんと治療・予防のメカニズムを理解する。

科目責任者(所属): 岡田 太(病態生化学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/12(水)	5	112	発がんの基本概念	岡田 太	病態生化学	発がんに関わる基本概念を理解する。	加齢、内的・外的発がん要因、酸化ストレス
2	10/14(金)	2	421	ゲノム解析新時代のがん研究	井上 敏昭	ゲノム医工学	ゲノム研究の最前線を理解できる。	ゲノム、遺伝子新大陸、遺伝子診断
3	10/21(金)	2	112	がん転移の機構と予防	岡田 太	病態生化学	がんの転移機構と予防戦略を理解する。	がん転移、exosome、miRNA、核酸医薬
4	10/28(金)	2	112	がんの病理組織	尾崎 充彦	病態生化学	がんの組織学的特徴を説明できる。	前がん病変、扁平上皮がん、腺がん、肉腫、多発がん、重複がん
5	11/4(金)	2	112	がんの遺伝子治療	中村 貴史	生体高次機能学	がんの遺伝子治療の研究情報を理解できる。	遺伝子組換え技術、ウイルスベクター、がんウイルス療法、GMP
6	11/11(金)	2	112	がんの免疫療法	林 真一	免疫学	腫瘍免疫を理解できる。	抗腫瘍免疫、免疫療法
7	11/17(木)	5	112	骨軟部肉腫の診断と治療	尾崎 まり	リハビリテーション部	骨軟部肉腫の診断、治療を理解できる。	骨肉腫、軟骨肉腫、軟部肉腫、転移性骨腫瘍
8	11/25(金)	2	112	肝細胞がんの診断と治療	汐田 剛史	遺伝子医療学	肝細胞がんの病因、診断、治療、予防法を理解できる。	ウイルス性肝炎、腫瘍マーカー、活性酸素
9	12/2(金)	2	112	がん幹細胞	尾崎 充彦	病態生化学	がん幹細胞説について理解する。	がん幹細胞説、発がん微小環境
10	12/9(金)	2	112	婦人科がんの診断と治療	大石 徹郎	女性診療科	婦人科癌の発生と治療を説明できる。	子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、化学療法
11	12/16(金)	2	112	血液腫瘍の治療	本倉 徹	臨床検査医学	白血病、リンパ腫の治療の説明ができる。	血液細胞、分子標的治療、幹細胞移植
12	1/6(金)	2	112	肺がんの診断と治療	牧野 晴彦	第三内科診療科群	分子病態から診療が理解できる。	分子診断、分子標的治療、分子薬理学
13	1/13(金)	2	112	がんの予防(1)	岡田 太	病態生化学	がん予防の標的と戦略を理解する。	国別がん予防戦略
14	1/20(金)	2	112	がんの予防(2)	岡田 太	病態生化学	がん予防の標的と戦略を理解する。	学校教育によるがん予防
15	1/27(金)	2	112	がん死生観	岡田 太	病態生化学	がんを通して死生観を考える。	DALYs、老化・老衰研究、終末期医療、天寿がん

教育グランドデザインとの関連: 25 学位授与の方針との関連: 1

参考書: 指定しない。ただし、「なるほどなっとく病理学 病態形成の基本的なしくみ(南山堂)」「やさしい腫瘍学(南江堂)」や「The Biology of Cancer(原著)」などを参照すること

評価: レポート100%